

# 御殿堰 大黒天便り



## ◆第一四号◆



山形市中心市街地を流れる御殿堰。その豊かな水の流れを見守っているのが私「御殿堰大黒天」です。「大黒天便り」では、わたし大黒天が御殿堰の歴史・季節の話題・生活の知恵など『なるほど!』と思っていただけの内容をお伝えしていきたいと思っています。今回は第一四号です。

## ◆グッドデザイン賞受賞◆

二〇一一年一〇月三日付で「二〇一一年グッドデザイン賞」の受賞結果が発表されました。

審査対象数三二六二件。受賞数は一一二件。その一一二件のうちの一件として「商業施設 水の町屋七日町御殿堰」が二〇一一年度グッドデザイン賞を受賞致しました。

昨年の「地域づくりのやまがた景観賞」最高賞に続き、今年も栄誉ある賞を受賞させていただきました。

今後、懐かしさ・山形らしさを感じていただける場所であり続けることで、皆さまに繰り返し訪れていただける場所であり続けたいと願っております。今後も宜しくお願い致します。



## ◆御殿堰劇場 野外上映会を開催◆

これまで水をテーマに「ウォーターセブン」という活動を行っている「まちコンやまがた実行委員会」。七月二十五日には、今年で六年目となる「打ち水イベント」を山形市で開催。七月二十五日は、一九三三年に山形市が日本一の最高気温を記録した日です。

その「まちコンやまがた実行委員会」が、山形国際ドキュメンタリー映画祭に先駆けて中心街の水辺の広場で野外映画上映会を行いました。

上映されたのは、今年生誕一〇〇周年を迎える山形県出身の本多猪四郎監督による作品。日本初の特撮怪獣映画「ゴジラ」(一九五四年)と、手塚治虫原案・大塚康生演出兼作画監督による傑作アニメ「草原の子テングリ」(一九七七年)の二本立て。当日は肌寒い夜となりましたが、御殿堰緑地に敷いたシートに座り、スクリーンに映し出される映画に見入っている方が沢山いらっしゃいました。

## ◆秋の吊るし飾り◆

今年も残暑が厳しい秋となりました。しかしこの数日は一〇月らしからぬ気温で体調を崩しがちな陽気です。九月四日の「日本一の芋煮会」を皮切りに、土日は芋煮会をする方も多いのでは?

水の町屋御殿堰では「街中でも季節感を」と、季節毎のオリジナル吊るし飾りを制作・展示して参りました。

三月「吊るし雛」・五月「端午の節句吊るし飾り」・七月「夏の吊るし飾り」。今月は「実りの秋の吊るし飾り」ということで、オリジナル5作品目となります。

道行く方が「かわいい!」と写真を撮ってくださったり、「どこで販売しているの?」と声をかけて下さったりするのが制作しているスタッフの励みとなっています。秋の吊るし飾りも気に入っていただけると嬉しく思います。



## ◆七日町歩行者天国 街なか賑わいフェスティバル二〇一一◆

約三〇年ぶりに、七日町の歩行者天国が復活します。ミスタードナツ前交差点よりナナ・ビーンズ前交差点までが午前一〇時〜午後五時の間車輻通行止めとなります。

## 【水の町屋御殿堰でのイベント】

### きもの・DE・やまがたむがさり行列

昔ながらの花嫁同中を再現。御殿堰が出发点となります。午後一時半〜三時

### 山形いも煮の振る舞い

午後二時半〜振る舞いを開始

## ◆行け行け干し柿隊事業 ◆

一緒に干し柿を作って、地域交流しながら町の景観づくりに取り組んでみませんか?

### 【日程】一〇月一五日(土)〜一六日(日)

【時間】午前一〇時〜午後一二時

### 【内容】

一日目に柿もぎ。二日目に干し柿づくり。

### 【場所】

一日目：山形市柏倉地区

二日目：山形市七日町御殿堰

【定員】二〇組程度

【費用】無料

【申込方法】

「参加者の名前・住所・電話番号」を電話またはFAXでご連絡下さい。折り返し、参加受付のご連絡を致します。

### 【その他】

※雨天決行

※柿の生育状況により延期の場合有。

### 【問合せ先(高橋)】

〇七〇(五四七八)〇九〇二

【FAX】

〇二三(六三五)二四五〇



## 山形あれこれ ⑫ 映画の町

以前、この辺りに沢山の映画館があったのは皆さま御存知の通りです。七日町角の梅月館から南東に走る通りには「シネマ通り」という名づけられています。歩道を観ながら歩くと、映画フィルムをモチーフにした飾りが道路に埋め込まれていたりもします。

このシネマ通りですが、以前は娯楽(映画)の町として栄えていました。ピーク時には、山形市内に一一もの映画館が存在していました。そんな映画の中心地であったのがシネマ通りです。

奇数年に開催される「山形国際ドキュメンタリー映画祭」は、国内外からたくさんの方が山形にやってくるメジャーなイベントです。この映画祭は、山形市の市政百周年を記念して一九八九年から開催され、今年で二二回目を迎えます。

ドキュメンタリーのための映画祭では、アジア地域で初のもので、アジアを中心に世界中の映画作品や監督が集まるイベントとなっています。発案は、山形県上山市牧野村で活動していたドキュメンタリー映画監督の小川紳介監督。

二〇〇七年開催のドキュメンタリー映画祭の際は、シネマ通りにある「旭座」「ミュージ」での上映もありましたが、その後この二つの映画館が閉館してしまいました。

レトロで味のあるシネマ旭。この建物は「表現主義」のデザインで建てられたそうです。

シネマ旭の誕生は、二〇世紀初頭の一九一七年(大正六年)。山形県初の映画館の誕生でした。

一九五五年(昭和三〇年)に現在の姿に改装され、シネマ旭誕生当初の表現主義にのっとった建築の姿なのではないでしょうか。



次号の発行は十一月七日です。来月も皆様と紙面でお会いできるのを楽しみにしています。